

ページ数	変更箇所	変更前	変更後
154	「復溜」取り方(文章の追加)		* 交信と同じ高さで、交信の後方5分にある。
154	「築賓」取り方(文章の追加)		* ヒラメ筋は、膝を屈し、抵抗に抗して足関節を底屈すると脛骨内側縁に明瞭に現れる。 * 太溪の上方5寸、蠡溝(肝経)と同じ高さにある。
154	「陰谷」取り方	膝関節を軽く屈曲したときにできる膝窩横紋上で、半腱様筋腱の外側縁に取る。	膝関節を軽く屈曲したときにできる膝窩横紋上で、半腱様筋腱の外縁に取る。
160	「神封」取り方(文章の追加)		* 第4肋間の高さには前正中線から、膻中(任脈)、神封、乳中(胃経)、天池(心包)、天溪(脾経)、輒筋(胆経)、淵腋(胆経)が並ぶ。
166	「天池」取り方(文章の追加)		* 第4肋間の高さには前正中線から、膻中(任脈)、神封(腎経)、乳中(胃経)、天池、天溪(脾経)、輒筋(胆経)、淵腋(胆経)が並ぶ。
168	「内関」取り方	* 外関(三焦経)と相対する。	* 内関に対応する後側の経穴は外関(三焦経)である。
168	「大陵」取り方		* 長掌筋筋腱が不明瞭の場合は、橈側手根屈筋筋腱の内側に取る。 * 太淵(肺経)、大陵、神門(心経)は手関節掌側横紋上に並ぶ。
172	「陽池」取り方(文章の追加)		* 第4・第5中手骨間隙を擦上すると触れることができる。総指伸筋腱は抵抗に抗して手関節を伸展するとより触れやすい。 * 陽溪(大腸経)、陽池、陽谷(小腸経)は手関節背側横紋上に並ぶ。
172	「外関」取り方	* 内関(心包経)と相対する。	* 外関に対応する内側の経穴は内関(心包経)である。
174	「天井」取り方(文章の追加もあり)	肘頭上方1寸で、肘関節をやや屈曲したときにできる陥凹部に取る。 * 肩関節を90度外転したときの肘頭から肩峰角までの長さを便宜上1尺とする。	肘頭上方1寸で、肘関節をやや屈曲したときにできる陥凹部(肘頭窩)に取る。 * 肩関節を90度外転したときの肘頭から肩峰角までの長さを便宜上1尺とする。肩峰角とは、肩甲骨の後縁を外側にたどるとき、肩峰外側縁への移行部に触れる、下方に突き出している角のことである。
175	イラストの修正		

ページ数	変更箇所	変更前	変更後
177	イラストの修正		
180	「和膠」取り方	頬骨弓後端の上縁で、浅側頭動脈拍動部の後方を取る。	頬骨弓後端の上方で、浅側頭動脈拍動部の後方を取る。
180	「糸竹空」取り方(文章の追加)		*瞳子膠(胆経)の直上にある。
184	「額厭」取り方	頭維(胃経)から曲髻までの側頭髪際に沿った曲線上で、	側頭髪際にほぼ並行して、頭維(胃経)から曲髻までをなだらかに結ぶ曲線上で
184	「懸顛」取り方	頭維(胃経)から曲髻までの側頭髪際に沿った曲線の midpoint に取る	側頭髪際にほぼ並行して、頭維(胃経)から曲髻までをなだらかに結ぶ曲線の midpoint に取る
186	「懸釐」取り方	頭維(胃経)から曲髻までの側頭髪際に沿った曲線上で、	側頭髪際にほぼ並行して、頭維(胃経)から曲髻までをなだらかに結ぶ曲線上で、
188	「頭臨泣」取り方(文章の追加)		*前髪際の後方5分には前正中線から、神庭(督脈)、眉衝(膀胱経)、曲差(膀胱経)、頭臨泣、本神、頭維(胃経)が並ぶ。
190	「脳空」取り方	*脳戸(督脈)と同じ高さにあたる。	*脳戸(督脈)、玉枕(膀胱経)と同じ高さにある。
192	「京門」解剖	外腹斜筋・内腹斜筋	広背筋<筋枝>胸背神経、外腹斜筋・内腹斜筋
194	「環跳」取り方	*側臥し、股関節を屈曲すると取穴しやすい。	削除
194	「環跳」別説取り方	*この場合も、側臥し、股関節を屈曲すると取穴しやすい。	*環跳は、側臥し、股関節を屈曲すると取穴しやすい。